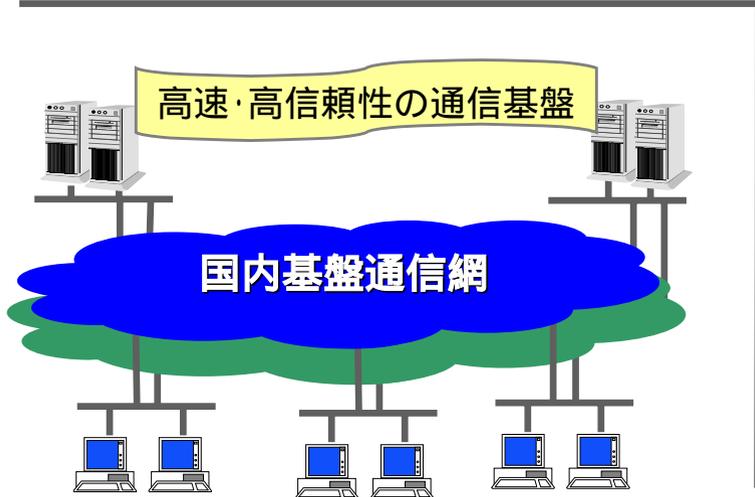
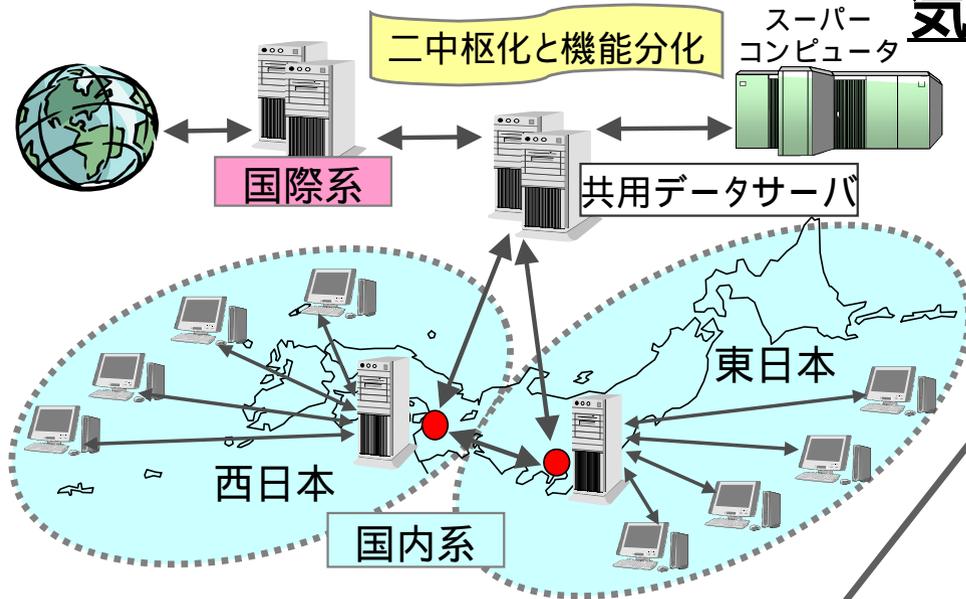
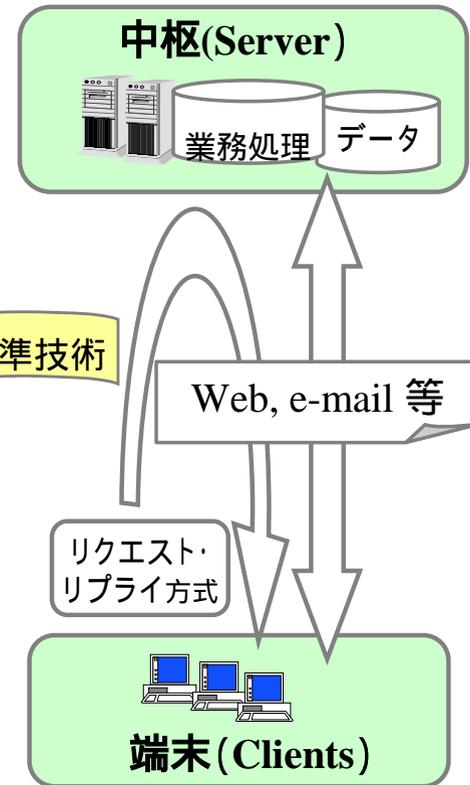


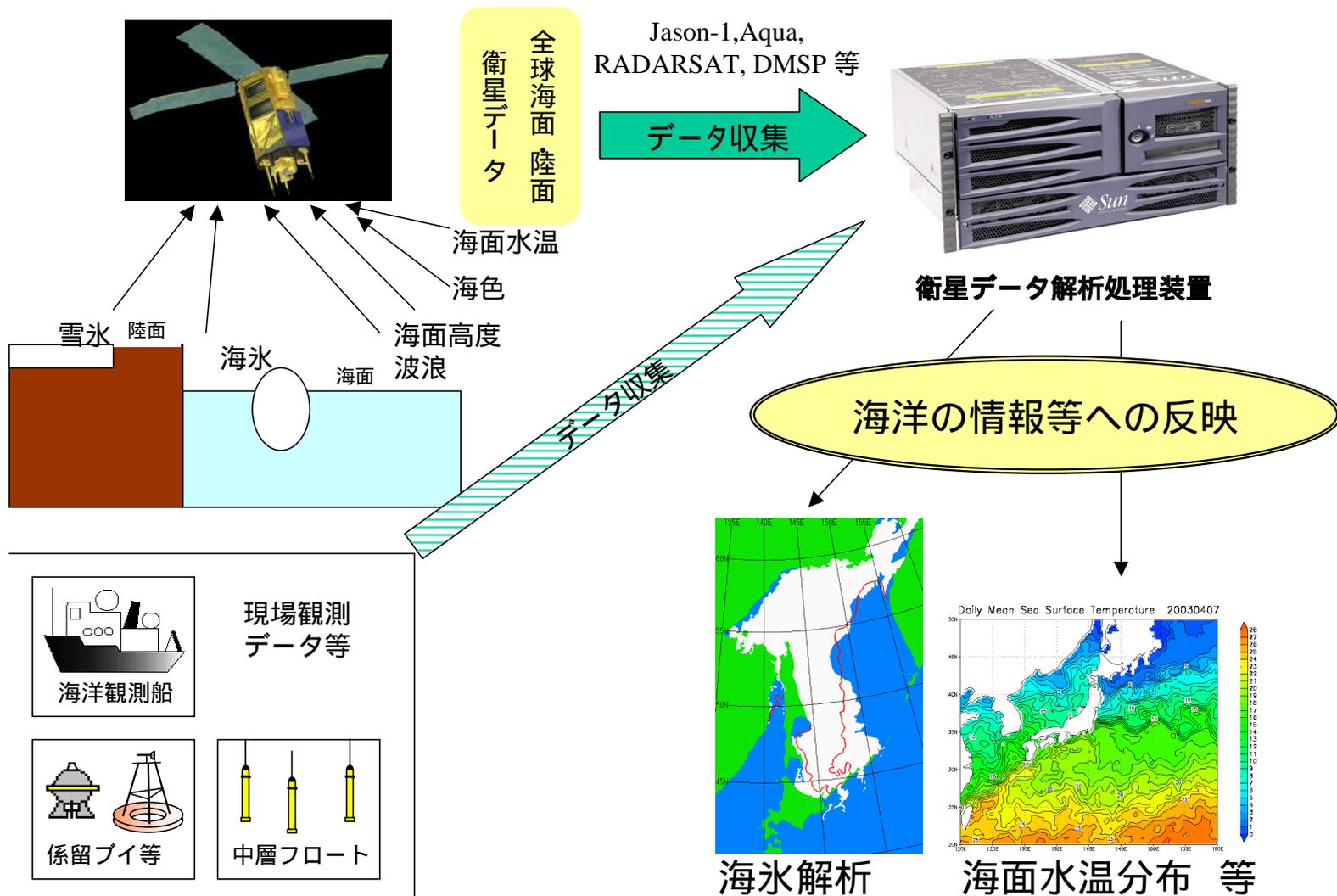
# 気象通信・情報処理システム の技術基盤の充実



インターネット標準技術



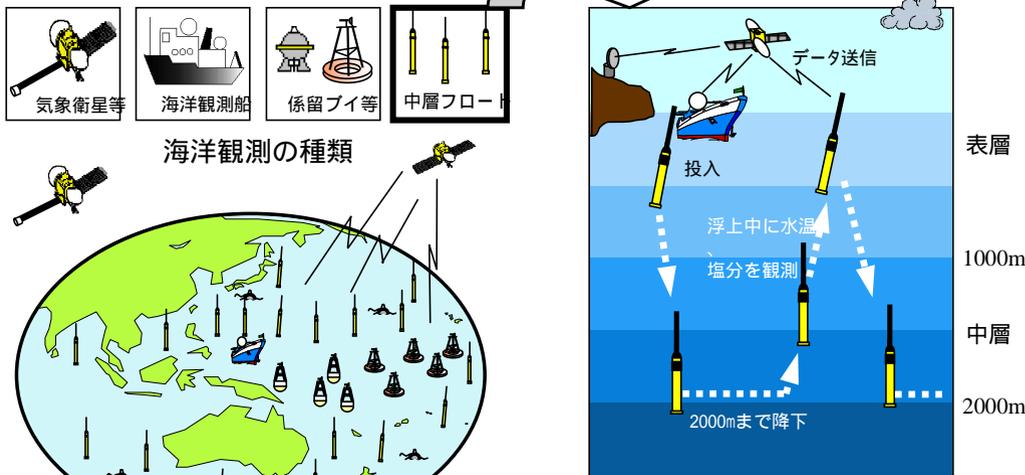
# 地球観測衛星データの収集及び海洋の情報作成のためのデータ算出



# ARGO計画と海洋実況情報の提供

Argo (アルゴ) 計画は、世界気象機関 (WMO) やユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC) などの国際協力のもとで、全世界の海洋に約3000個の中層フロート (自動的に浮き沈みする長さ約1mの筒状の観測機器) を展開し、最新の海洋観測・通信・情報処理技術を駆使して全世界の海洋の状況をリアルタイムで監視、把握するシステムを構築するものです。我が国でもミレニアムプロジェクト「高度海洋監視システム (ARGO計画) の構築」として、気象庁、文部科学省などが連携して平成12年度からの5か年計画で推進しています。

## 高度海洋監視システム (ARGO計画) による海洋観測



海洋気象観測船等により海洋に投入された中層フロートは、およそ10日毎に水深約2000mまで降下・浮上を繰り返し、その際に測定される海面から水深約2000mまでの水温、塩分の鉛直データを、衛星を経由して自動的に通報します。

海洋の循環機構の解明等  
海面水温の予測精度向上

海洋の実況情報の提供  
観測データ・水温分布の実況解析図等